

博覧会場跡

東京遷都の後、京都の衰退の可能性を憂慮した人々は、京都の伝統的な工業製品を紹介するために、1871 年、西本願寺で博覧会を開催することを決定します。

第 2 回目から第 9 回目までの博覧会は仙洞御所を会場として開催され、その後も数多くの博覧会が会場を変えて開催されました。1880 年には、京都市は伝統産業や工芸・芸術の担い手を育成するため、東山のふもとに京都府画学校（現在の京都市立芸術大学）が設立しました。ここで学んだ芸術家たちには、芸術文化の発展と達成の中心地としての京都の地位を守ることを奨励されました。1914 年、平安神宮の近くの岡崎地区に京都市勧業館と呼ばれる展示場が建設されました。現在は「みやこめっせ」と改称され、様々な芸術や文化のイベントが開催されています。